



2021年11月8日

各位

会社名 株式会社フライングガーデン  
 代表者名 代表取締役社長 野沢卓史  
 (JASDAQ・コード 3317)  
 問合せ先 常務取締役 片柳紀之  
 営業支援本部長  
 (TEL: 0285-30-4129)

営業外収益の計上及び2022年3月期第2四半期  
業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期会計期間において、営業外収益を計上しました。また、2021年8月10日に公表いたしました2022年3月期第2四半期の業績予想と実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

2022年3月期第2四半期会計期間(2021年7月1日～2021年9月30日)において、従業員への休業補償に伴う雇用調整助成金及び時短営業に伴う協力金等60百万円を助成金収入として営業外収益に計上いたします。

なお、2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)において、上記を含め助成金収入177百万円を営業外収益に計上いたします。

2. 2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,265	160	280	170	117.63
実績数値 (B)	3,096	67	252	156	108.23
増減額 (B - A)	△169	△93	△28	△14	—
増減率 (%)	△5.2	△57.7	△9.9	△8.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期 第2四半期累計期間)	2,669	△166	△152	△121	△83.96

### 3. 2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異の理由

2022年3月期第2四半期累計期間の売上につきましては、緊急事態宣言の発出による時短営業及び酒類販売の自粛要請により来客数が減少したことで、計画を下回りました。

利益面では、売上高が計画を下回ったことにより営業利益は計画を大きく下回りましたが、上記助成金収入を営業外収益に計上したことなどにより経常利益及び四半期純利益は計画を若干下回りました。

2022年3月期通期業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

なお、一部の雇用調整助成金及び時短営業に伴う協力金につきましては未入金もしくは未申請であり、通期業績予想の修正が必要となる場合には適時適切に開示いたします。

以 上